教育委員会　6月報告

令和４年７月１日

中学校　木祖村交流学習の実施

令和４年６月９日（木）～１０日（金）の２日間の日程で、中学校１年生が長野県木祖村を訪問し交流学習を行った。中学校では、令和元年から木祖村交流学習をスタートし、過去２年間は新型コロナウイルス感染症の影響で訪問を見送ったが、今回は待ちに待った実施となった。初日は木祖村の名所味噌川ダムの見学や、標高 1,200ｍ以上の天然林である水木沢のトレッキングを通して大自然を満喫した。２日目は木祖中学校に訪問し、事前に調べた互いのまちの様子を紹介し合った。木祖中学校とは今後も交流を続け、互いの郷土理解を深めていきたいと考えている。

小・中学校でプール開き

令和４年６月１３日（月）に小学校で、６月２１日（火）に中学校でプール開きがあった。当日は天候にも恵まれ、プールでは子どもたちの賑やかな歓声が響き渡った。過去２年に渡り、新型コロナの影響でプールの授業は見送られていたが、今年度は感染対策を十分図りながら実施にこぎつけることができた。

子どもたちは久々の水泳ということなので、今年度はまず水に慣れ、安全に水泳する態度を身に付けさせていくことを目標としている。

第23回　インターナショナルデー　開催

令和４年６月１８日(土)に小学校で３年ぶりに「インターナショナルデー」を開催した。当日は、感染症対策を図るために２学年ずつ体育館に集まり、国際交流学習を行った。今年度は、ベトナム、カンボジア、インドネシア、スリランカから１１名の外国の方をゲストティーチャーとして招待し、事前に各学年でゲストティーチャーの出身国について調べ、その国の遊びや文化、生活の様子を教えていただいたり、一緒にゲームをしたりして楽しんだ。

子どもたちは、世界にはさまざまな国があること、そこには日本と違う文化があり、それぞれ尊重されるべき生活スタイルがあることなどを学び、貴重な学習経験となった。

小学校　6年生役場見学学習

６月21日（火）に６年Ａ組の児童が、社会科の学習の一環で役場見学を行った。町長、副町長と各課に事前に質問を送付し、見学当日は２～４人が一組になり、聞き取り学習を行った。見学に来た児童は、「役場の方は優しく丁寧に教えてもらえたので、とてもわかりやすかった。」と喜んで学校に戻り、事後の学習に取り組んだ。

６年生による役場見学は今年で３回目の取り組みで、今後、郷土教育の集大成として位置づけている「子ども議会」の取り組みにつながる良い学習機会となった。

木曽岬町青少年育成町民会議　令和４年度第２回理事会

令和４年６月２７日（月）　役場４階会議室にて開催した。

事業の経過報告では、花いっぱい運動やあおいそら運動、非行防止パトロール等について説明があった。また、今年度キックオフをした「夢に向かってがんばる木曽岬っ子応援キャンペーン」についての経過報告と、今後の取り組みについて協議を行った。最後に、町内の近況報告があり会は終了した。

体育協会主催「第 57 回町内卓球大会」が開催！！

令和４年６月 26 日（日)、町体育館を会場に「第 57 回町内卓球大会」を開催した。

新型コロナの影響で３年ぶりの開催となった今大会には、町内外から 34 名の参加者があり、中学生を含めた一般の部は４人１グループで８つの予選リーグに分かれ、上位２名が決勝トーナメントに、下位２名が３～４位トーナメントに進出し優勝を目指した。一方、女子の部は３名による総当たり戦により優勝を争った。

新型コロナの感染対策として、参加者には受付で体調確認シートの提出を求めたほか、こまめに台やボールの消毒を行うなど細心の注意を払って実施し、参加者は久しぶりの大会を楽しんでいた。なお、各部門の結果については以下のとおり。（敬称略）

【一般の部】　優　勝：川村　幸輝
　　準優勝：星野　将明
　　第３位：太田　博之

【一般の部　3～4 位トーナメント】
　　優　勝：高橋　愛翔
　　準優勝：伊藤　進
　　第３位：川端　悠助

【女子の部】　優勝：太田　朝子

令和４年度 木曽岬町合同研修会

令和４年６月２９日（水）に、木曽岬中学校にて木曽岬町合同研修会を実施した。この研修会は、小・中学校の教職員が授業提案を通して職員の力量を高めることを目的に毎年行っており、過去２年間は新型コロナの影響により一堂に会しての授業参観は見送ってきたが、今年度は感染対策を図ることで、中学３年英語科の授業提案と事後研修会を実施した。授業では、英会話の時間が十分とられ、自分が続けていることで「難しいこと」、「ワクワクすること」、「大切だと思うこと」をペアになって会話した。自分たちの会話をタブレット端末に録音して教師に提出し、教師は評価をして生徒に返すなど、ICT 機器を効果的に活用した指導方法も提案された。久々の集合研修は、小中学校の教師の熱意を感じることができ、大変有意義なものとなった。

【3年英語科授業】

【事後研修会】

木曽岬音頭・小唄保存会による小学校への踊りの指導

令和4年6月30日（木）に、木曽岬小学校にて木曽岬音頭・小唄保存会による子どもたちへの踊りの指導が行われた。この取り組み、郷土学習の一環で、町の伝統文化の継承をねらいとして、毎年こども園、小学校、中学校で行われてきたが、過去2年間は新型コロナの影響により中止を余儀なくされてきた。今年度は、町体育館で感染対策及び熱中症対策を十分図りながら、3年ぶりに小学校で指導いただくこととなった。小学校では、毎年2年生で音頭・小唄体験が計画されているため、当日は小学2年生へ指導に加え、これまで2年間踊りの体験ができなかった小学3年と4年生もそれぞれ指導していただいた。最初は見よう見まねで踊っていた子どもたちも、練習を重ねるうちにだんだん上手になっていく姿が見られた。

練習の成果は、8月6日（土）18:30から町役場駐車場で実施する「木曽岬音頭・小唄を踊るタベ」で披露される予定である。